資料２－１

Ｈ３０終了課題　事後評価の流れ・手順

6 月　事務局より研究代表者に提出書類の作成依頼

↓

～7 月下旬　研究代表者より事務局に書類の提出

↓

8 月上旬　事務局より評価分科会各委員等へ提出書類の送付

↓

～9 月中旬

書　類　の　事　前　査　読

評価分科会各委員による書類の事前査読

↓

9 月 17 日
ハード分野
10 月 7 日
ソフト分野

研　究　評　価　会　の　開　催

評価分科会各委員による事後評価シートの作成

↓

評価分科会による事後評価（案）を作成するための審議

↓

10 月

事　後　評　価　（　案　）　の　作　成

評価分科会長による事後評価（案）の作成

↓

11 月 12 日

新　道　路　技　術　会　議　の　開　催

事後評価の決定

↓

事後評価結果の公表

研究成果の公表方法について

１．公表する研究成果関係資料

研究終了報告書／研究概要（日本語・英語）／成果報告レポート

研究終了報告書

【様式１】

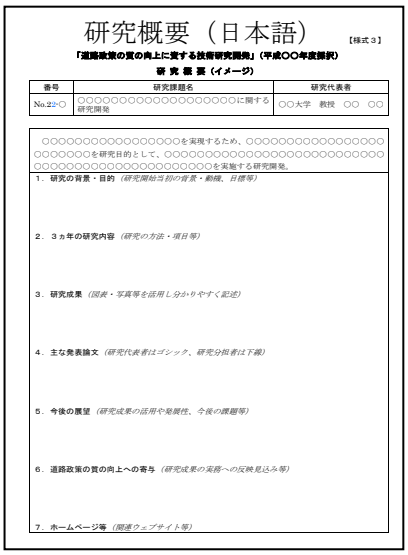
道路政策の質の向上に資する技術研究開発

【研究終了報告書】

		氏　名	所　属	役　職
①研究代表者		藤井聡（ふじい さとし）	東京工業大学 大学院理工学研究科	教授
②研究テーマ	名称	モビリティマネジメント：社会心理学的アプローチに基づくコミュニケーション型TDMに関する研究開発		
	政策領域	主領域：1.新たな行政システムの構築 【副領域】10.自然環境・地球環境	公募タイプ	タイプ1B：新政策課題創造型

③研究期間（単位：千円）	平成17年度	平成18年度	平成19年度	総合計
金額を記入	800	800	800	2400

④研究者氏名	氏　名	所属・役職（赤字は2007年3月31日現在）
	石田　東生	筑波大学社会工学系　教授
	太田　勝敏	東洋大学　国際地域学部　教授
	大森　宣暁	東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻　講師
	佐野　伸宏	北海道大学大学院工学研究科都市環境工学専攻　准教授
	浜谷　純一	金沢大学工学部建設工学科　教授
	谷口　綾子	筑波大学社会工学系　講師
	谷口　守	岡山大学環境理工学部環境デザイン工学科　教授
	土井　勉	神戸国際大学経済学部都市文化経済学科　教授
	福田　敦	日本大学理工学社会交通工学科　教授
	松村　暢彦	大阪大学大学院工学研究科土木工学専攻　准教授



研究概要（日本語）　【様式３】

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成○○年度採択）

研 究 概 要（イメージ）

番号	研究課題名	研究代表者
No.22-○	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○に関する研究開発	○○大学　教授　○○　○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○を実現するため、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○を研究目的として、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○